

INTERNATIONAL CENTER

Newsletter Vol. 80



8-10月号



帰国前に書いた

短期留学生の感想文

曹贏 武漢科技大学 (中国) 2009.9-2010.8

楽しい夏休みはまた、一部の短期交換留学生にとっては離別のときでもあります。前期を終えた時点で、6名の短期留学生が留学期間を終えて帰国しました。そのうちの3名の感想文(抜粋)です。



日本に来たとき、私は日本語が全然話せませんでした。最初の専門の授業の時、私は漢字と方程式と図だけを見て勉強しました。問題があっても日本語で聞くことができませんでした。毎日早く日本語を話せるようになるために一生懸命習いました。私は日本語の勉強で鈴木先生や尾山先生からたくさん教わりました。そのおかげで、日常生活においては特に問題なく日本語を使えるまでになりました。

私が研究室に入ったとき、皆が私の歓迎会をしてくれました。皆は中国語で「歓迎」と言ってくれました。私はびっくりすると同時に感動しました。この一年中、私は研究室で色々な専門知識を習いました。主な勉強は、受動歩行ロボットです。研究室に来てから、初めて受動歩行ロボットを知りました。

受動歩行ロボットは、関節にモーターを使わなくても走れます。そのため、省エネのロボットとして注目されています。とても面白い研究だと思います。今まで私はロボットの右左折と登坂のシミュレーションを行いました。今論文を書いています。この後、受動歩行ロボットについて、もっと研究を続けたいです。

国際交流センターでは色々なイベントを主催してくれました。釣りやスキー、旅行などとても面白かったです。最近では友達と一緒に日本で旅行をしました。きれいな日本の印象を受けました。

この一年の留学生活で、私は日本の生活と文化を体験できました。また、面白い研究もすることができました。更には、友達も作ることができ、私の人生の中で貴重な体験をすることができたと思っています。



北見は静かな町で、自然に囲まれています。私は好奇心をもって色々ことを体験したいと思っていました。学校では勉強以外に活動が色々あって、それを通じて日本の文化も理解でき、楽しかったです。

自分の生活のために、毎日自転車でスーパーに買い物にいきました。新しい留学生同士、皆いい友達になり、時々一緒にご飯を作りました。とても幸せで、日本の生活にはすぐに慣れました。沢山友達ができのおかげで、私の性格も朗らかになりました。もちろん困ったときもありましたが、自分で努力したり友人の助けを借りて乗り切ることができました。そして、日本にいるとき北海道以外東京や京都にも旅行しました。色々美しい風景を見て、大都市の景色はやはり北海道と違うと思いましたが、私は自然の豊かな北海道が好きです。沢山のいい思い出ができて、帰りたくありません。日本に来てよかったです。



最近のニュース：

2010年6月N2合格（日本語学習歴8か月）

陳芳渝__中国医薬大学(台湾) 2009.9-2010.8

金瑛浚__江原大学校(韓国) 2009.9-2010.8

当初は、一年って長いなーと思いました。でも、もうすぐ帰る時が近づいて来ました。今考えると一年はそんなに長くなかったように思います。留学に来てからいろいろありましたが、どれも楽しい思い出でした。

最初に日本に来たとき、私はあまり日本語を話せませんでした。緊張もあり、うまく話せるかどうか心配でした。でも、みんな優しくていい人ばかりだったので、すぐみんなと仲良くなりました。先生方も本当に優しくしてくれてうれしかったです。今はもう帰る準備をしていますが、まだまだ遊びたいです。

最後に、日本の皆さんありがとうございました!!



*We little children, we would dream of Christmas morn
of all the gifts and toys we know we'd find
but we never realized, a baby born, was thine, right
you are the greatest gift of our lives
we were the reason that He gave His life
we were the reason that He suffered and died
it is a world that was lost He gave all He would give
To whom we the reason to live*

ようこそ北見工大へ

帰国する留学生を見送った一方で、10名もの新しい交換留学生を迎えました。江原大学校（韓国）、中国医薬大学（台湾）、勤益科技大学（台湾）、モンゴル科学技術大学（モンゴル）、クラクフ工業大学（ポーランド）、そして今学期から新たに学生交換を始め、アラスカ州立大学フェアバンクス校（アメリカ）の6校からです。大学院修士後期課程に入学した1名と合わせて17名をここに紹介します。

HARATYM LUKASZ

ハラテム ウーカス（愛称：ルーク）
□ クラクフ工業大学



私はファンタジーな本やサイエンス・フィクションの本を読むことが好きです。特に、テリー・ブラチエットという作家が好きです。また、最近ではスキーを習い、好きになりました。時々、漫画やアニメも楽しく読んでいます。スポーツでは、バスケットボールが好きです。

LEMPA PAWEŁ

レムパ パベウ
□ クラクフ工業大学



私は、サイクリングや読書、漫画を読むことが好きです。普段、多くの時間をパソコンに使っています。私は日本料理が好きですが、まだあまり食べたことはありません。

BATBAATAR PUREVKHISHIG

バタバートル プレブヒシグ（愛称：ヒシグ）
□ モンゴル科学技術大学



私はちょっと男っぽい性格の人だと思います。小さいころからこれまで一度も学校を休んだことのない、健康優良児です。

黄 晋彦

ホアン ジンイェン
□ 中国医薬大学



私の趣味はスポーツをすることと歌を歌うことです。家族は4人です。肉は好きですが、野菜は嫌いです。これから日本語が上手になるように頑張りたいです。

莊 媛淑

チュアング ユエンシュウ
□ 中国医薬大学



私の趣味は旅行をすることです。北海道の美しい風景を見てみたいです。また、おいしい食べ物を食べてみたいです。私は、日本の音楽が好きです。

MCAULAY ERIN ELIZABETH

マカレイ エリン エリザベス
□ アラスカ大学フェアバンクス校



私は、映画を見たり、本を読んだりするのが好きです。

陳 元植

ジン ウォンシク
□ 江原大学校三陟キャンパス



今、自信を失い、意欲がない状態です。元々は自信しかありませんでしたが…。とにかく今、頑張っている最中ですので、よろしくお願いします。

ZAREBA MACIEJ

ザレバ マチエイ
□ クラクフ工業大学



私はスポーツに興味があります。特にサッカーとバスケットボールが好きです。また、アメリカのテレビのシリーズものも好きです。今は日本語が全く話せませんが、北見での留学を楽しみたいと思います。

GANBOLD MUNGUN-ERDENE

ガンボルト ムングン エルデネ
□ モンゴル科学技術大学



私の趣味は、映画を見ることと、絵を描くことです。私には一人弟がいます。

劉 昌育

リョウ チャンユウ
□ 国立勤益科技大学



日本へ来ることができ、よかったです。留学中に日本語を勉強したり、日本の料理をたくさん食べたりしてみたいです。

慈 維君

ツイ ウエイジュン
□ 国立勤益科技大学



私の趣味は、水泳をすることです。大学院生の25歳です。今のところ、日本の生活に慣れています。これから日本語を一生懸命勉強します。

白 玉廷

バイ ユティン
□ 博士後期課程/医療工学専攻



絵を描いたり、写真を撮ったりするのが好きです。

7月3日、北見観光協会の企画により日帰りバスツアーが行われた。当日は、途中雨が降る時間帯もありあいにくの天候であったが、留学生24人が参加。観光協会の方にバスガイドを務めていただき、北見市内の観光地を回った。ホテルの里でホテルの説明を聞いたり、果夢林の館で世界一大きな「からくりハト時計」を見たりした後、温根湯温泉の旅館「大江本家」で昼食をとり、温泉に入った。その後、ハッカ記念館を訪れ、最後はレストランで食事をしながら、観光協会の方々と北見の観光について意見交換。観光協会の方々と有田先生の絶妙なトークのおかげで楽しく過ごすことができた。

IWMST₂₀₁₀

IWMST2010国際ワークショップ終わる



9月4日から5日にかけて、IWMST2010国際ワークショップが本学にて開催された。この隔年行事は、本学およびハルビン工程大学、武漢科技大学、電気通信大学の4大学が交代でホストしているもので、今年は創立50周年記念行事の一環として本学で催された。

ワークショップは開会式に引き続き、本学の青木教授による基調講演で幕を開け、ポスターセッション、オーラルセッション合わせて60を超す発表が行われ、学术交流協定校の研究者同士が最先端の研究結果を分かち合った。また、今回は前述の四大学に加えて台湾国立勤益科技大学がオブザーバーとして参加。交流を深める良い機会となった。

7月のインターナショナルCアワーは、「故郷に送る絵手紙を描こう」というテーマで、芸術文化ホールの出前講座より絵手紙の先生を招いて開催した。絵のある手紙、絵手紙の3つの心得は、「ヘタでいい ヘタがいい」、「ぶっつけ本番」、「お手本なし」。自分が感じたことを、感じたままに描けばよいという先生のお言葉に励まされ、30数名の参加者はそれぞれ好きなモチーフを選んで思い思いに絵筆を動かしていた。はがきが出来上がると、「出してこそ絵手紙です」とおっしゃる先生のご好意で、皆切手を1枚ずついただき、留学生の多くは故郷の両親や友人に宛名を書いていた。



ウォン リン
中国、短期交換留学生

マ シンウェイ
中国、短期交換留学生

絵葉書を自分で作るなんて、本当に貴重な経験でした。先生が親切に教えてくださったおかげで、絵を描いて、はんこも作って、出来上がった時は本当に嬉しかったです。何せ、世界に1枚だけの葉書なので、本当にわくわくしました。

Cアワーでは、毎回いろいろな面白いことが経験できて楽しいです。葉書の文面は、日本語の上手な友達を書いてくれました。まだ19歳、今月末に20歳になります。子供扱いされるので早く大人になりたいです。葉書は父に送ります。



8月のCアワーは、環境保全委員会(通商KITeco)との共催で、紙すきを行った。紙すきの材料はシュレッダーダスト。繊維が分断されているため、再生紙には不向きとされているシュレッダーダストの再利用に敢えて挑戦し、成功した経緯とその方法を説明してもらい、参加者が実際に紙作りを体験した。その後、Kitecoがあらかじめ用意してくれていた用紙を使って、皆思い思いのしおりを作りながら交流のひと時を楽しんだ。

夏休みを利用して浜松から遊びに来ていた鈴木琉世さんと勇翔くん兄弟(写真)は、ちぎり絵でサッカーボールをデザイン。「ゴミから紙を作るのがすごかった。しおりはサッカーの練習方法が書いてある本に使用します」と、嬉しそうに話していた。



10月以降の予定とお知らせ

10月28日(木) 17:45 新留学生歓迎会@学生食堂

11月16日(火) 16:30~18:00 インターナショナルCアワー@総合研究棟3階ミーティングルーム
(リフレッシュルームから名前が変わりました)